校報
雪椿

平成２８年３月２５日

No. ２０６

福島県立只見高等学校
住所　南会津郡只見町大字只見
字根岸 2358
電話　0241-82-2148

卒業おめでとう

３月１日（日）に、本校体育館にて「第５２回卒業証書授与式」が行われ、４１名の卒業生が旅立ちを迎えることとなりました。御来賓の方々（祝辞：福島県議会議員 星　公正様、只見町長 目黒吉久様、父母と教師の会会長 渡部憲司様、同窓会会長 菅家三雄様）よりあたたかい励ましのお言葉をいただき、また保護者の方に見守られながら、卒業生たちは高校生活の思い出を胸に、それぞれの道へと新しい一歩を踏み出しました。

卒業式



卒業証書授与
卒業生代表
吉津帆南さん

当たり前のように受けていた授業も、友人と楽しく語り合った休み時間も、後輩達が一生懸命に部活動に取り組む姿を見ることも、明日からはできなくなってしまうと思うと、寂しさが募るばかりです。

三年間皆さんと過ごした思い出は、色あせることなく私達の背中を押す、強い力となるでしょう。

今、私達はそれぞれの進路に向かって踏み出します。

高校生活を皆さんと一緒に過ごすことができて、とても幸せです。三年間、本当にありがとう。



卒業生代表答辞　島谷拓実くん

様々な活動を通して先輩方からは、多くの大切なことを学ばせていただきました。常に私たちのことを気にかけて下さり、どんなときも私たちを導いてくださった先輩の姿は私たちにとって憧れでした。

先輩方はこれから将来の夢に向かってそれぞれの道へ巣立っていかれます。その道は楽しいことばかりではなく、時には迷い、立ち止まることもあるかと思います。そんな時は、この只見高校で過ごした三年間を思い出してください。



在校生代表送辞　齋藤咲希さん

表彰式が卒業式に先立って２月２９日（月）には、本校体育館において行われました。卒業生を対象とし、学業や部活動、生徒会活動において功績をのこした生徒たちに毎年表彰を行っています。受賞者は以下の通りです。

「優等賞」（3 名）　吉津帆南　服部　勇　　島谷拓実
「皆勤賞」（4 名）　三瓶龍亮　八久保哲平　渡部七依斗　新國　優
「精勤賞」（11 名）鈴木菜乃香　服部　勇　飯塚　駿　飯塚拓巳　五十嵐翔月　五十嵐美央　酒井康太郎
三瓶梨菜　島谷拓実　目黒大成　渡部早紀
「生徒会功労賞」（10 名）　春日七海　服部　勇　福田みるく　山内　結　渡部悠雅　飯塚拓巳　岡村なつみ
島谷拓実　新國　優　矢沢聖菜
「福島県高等学校野球連盟表彰」（1 名）　服部　勇
「会津地区高等学校体育連盟賞」（1 名）　山内　結
「会津卓球協会優秀選手賞」　　（1 名）　吉津帆南



同窓会入会式



２月２９日、卒業式に先立ち、同窓会入会式が行われました。
３年生４１名は、菅家三雄同窓会長の話に真剣に耳を傾けていました。
今後さらに見識を高め、持てる力をいかんなく発揮し、活躍してくれることを願います。
また、同窓会、雪椿会よりたくさんの卒業記念品や、今年度より只見町から卒業生一人一人に図書の贈呈があり卒業生達は思い思いの本を受け取っていました。

進路決定状況（３月１１日現在）

進学	四年制大学	国公立	福島大学行政政策学類	新潟県立大学国際地域学部
			神戸市外国語大学第２部英米学科	会津大学コンピュータ理工学部
		私　立	松陰大学看護学部	健康科学大学看護学部
			立正大学経済学部	東京情報大学総合情報学部
			東北福祉大学総合マネジメント学部	神奈川大学工学部
			日本大学工学部	文教大学教育学部
			城西国際大学総合経営学部	城西大学経営学部
			東北学院大学文学部	常磐大学地域政策学部
			流通経済大学スポーツ健康科学部	諏訪東京理科大学工学部
			東北工業大学工学部	
	短期大学	国公立	会津大学短期大学部産業情報学科	
		私　立	郡山女子大学短期大学部食物栄養学科	
	専門学校		テクノアカデミー会津	テクノアカデミー郡山
			東放学園音響専門学校	国際メディカルテクノロジー専門学校
			国際製菓調理専門学校	日本自然環境専門学校
			仙台総合ペット専門学校	仙台リゾート&スポーツ専門学校
			東放学園専門学校	首都医校
			千葉・柏リハビリテーション学院	長岡子ども・医療介護専門学校
就職	公務員		東京消防庁	陸上自衛隊（一般曹候補生）
	民間企業	県　内	五十嵐機工	（医）きみ歯科・口腔外科クリニック
			ネコマホテル（株）	（株）栄楽館　華の湯
			東北シール（株）	住田光学（株）
		県　外	（株）サードプレイス	（有）松泉閣　花月
			（株）リブ・マックス	（株）深谷組
			ライセンスアカデミー（株）	帝産観光バス（株）



卒業式後の最後の LHR での各クラスの様子

１組



２組



平成27年度年度末　学校評価アンケート結果

福島県立只見高等学校

12月に生徒、保護者、教員を対象とした今年度の学校評価アンケートを実施しました。その結果をお知らせいたします。（アンケート回収率：生徒100％、保護者82.5％、教員100％）

1　アンケート項目および評価方法

以下の4つの大項目の中に各5～6の小項目を設け、4段階（A～D）※で評価しました。

Ⅰ 学力および授業の質の向上（教員の授業の工夫、生徒の家庭学習等に関して）
Ⅱ 進路目標の実現（進路目標、情報提供、進路指導等に関して）
Ⅲ 生徒指導および部活動（服装・頭髪、言葉遣い、部活動等に関して）
Ⅳ その他（整理整頓、生徒の学校生活等に関して）

※
A:「はい」
B:どちらかといえば「はい」
C:どちらかといえば「いいえ」
D:「いいえ」

2　アンケート結果　　※達成度=評価Aを90%,Bを70%,Cを30%,Dを10%として評価者数で平均した値

（1）各評価者からみた平均達成度（昨年度）

生徒	保護者	教員
66.6%(64.8%)	69.6%(65.6%)	67.8%(65.6%)

（2）各評価者からみた高い評価（各3項目）

	順位	項目	達成度	順位 生	保	教
生徒	1	あなたの服装・頭髪は清潔できちんとしていますか。	80.8	1	2	1
	2	あなたは部活動等に積極的に取り組んでいますか。（～いましたか。）	78.2	2	1	3
	3	あなたの言葉遣いや礼儀はきちんとしていますか。	76.8	3	7	5
保護者	1	あなたのお子さんは部活動等に積極的に取り組んでいますか。（～いましたか。）	81.7	2	1	3
	2	あなたのお子さんの服装・頭髪は清潔できちんとしていますか。	80.3	1	2	1
	3	あなたのお子さんは本校に学んで、人間として成長していると思いますか。	75.2	17	3	11
教員	1	わかる授業をするための工夫をしていますか。	75.9	7	9	1
	1	生徒の服装・頭髪は清潔できちんとしていると思いますか。	75.9	1	2	1
	3	生徒は部活動等に積極的に取り組んでいると思いますか。	74.7	2	1	3

（3）各評価者からみた低い評価（各3項目）

	順位	項目	達成度	順位 生	保	教
生徒	21	あなたの問題や悩みに関して相談できる先生はいますか。	50.7	21	19	6
	20	あなたは学力の向上に向けて、計画的に家庭学習を行っていますか。	55.0	20	21	21
	19	あなたは学校生活が楽しいですか。	58.4	19	4	10
保護者	21	あなたのお子さんは、学力向上に向けて計画的に家庭学習を行っていますか。	60.1	20	21	21
	20	学校における生徒指導の方針や方法を理解していますか。	60.9	18	20	14
	19	学校には生徒の悩みや問題に関して相談できる教職員がいると思いますか。	61.8	21	19	6
教員	21	生徒は計画的な家庭学習を行っていると思いますか。	42.9	20	21	21
	20	生徒の進路に関する適性をよく知っていますか。	57.1	11	13	20
	19	生徒や保護者への進路に関する情報提供は十分ですか。	60.6	15	16	19

3　アンケート結果の分析



Ⅰ 学力および授業の質の向上（教員の授業の工夫、生徒の家庭学習等に関して）

全ての教員がわかる授業のための工夫をしていると回答しており、その想いと取組は生徒・保護者にもある程度評価されています。知識偏重ではない総合的な評価結果についても大部分の生徒・保護者に理解して頂いている様子がうかがえました。しかし、授業のレベル設定や課題の量に関しては職員間、及び職員と保護者間で評価が分かれています。学校は個に応じた学力を保証するための具体的手立てをさらに工夫し、そのねらいと期待される効果を保護者に説明する活動を通し、家庭と学校がより生徒支援に協力していく必要があります。

また、生徒の家庭学習習慣については三者が大きな課題と感じているようです。学年によるスコラを通した生活サイクルのチェックとアドバイス、学習ガイダンスや教科担任との面談等をより充実させ、生徒が自らの意志で机に向かう学習環境を作り上げなければなりません。

Ⅱ 進路目標の実現（進路目標、情報提供、進路指導等に関して）

本校はＬＨＲや総合的な学習の時間はもとより、多彩な学校行事・講演会を通したガイダンス機能の充実とそれを受けての体験・表現活動を重視しています。それらの活動と個別面談を通し、生徒の進路適性の把握に努めていますが、この「進路適性の把握」を課題と感じている教員が少なからずいるという傾向が見られました。このことが、生徒と十分なコミュニケーションをとりながら根気強く進路指導を行っているという教員側と生徒側の受け止め方の違いにつながったと思われます。「生徒自身が何をやりたいのかが見つからず、進路目標がなかなか決まらない→その結果生徒と保護者間での情報交換が十分に行われない→学校からの情報提供が保護者に伝わらない→進路目標が決まらない」というような悪循環に陥るケースも考えられます。今後さらに対策を練り、保護者の皆様と協力しながら、生徒の可能性を適切に示唆できる進路指導の在り方と生徒が主体的に進路実現の道を探究できる場面を増やしていきたいと考えます。

Ⅲ 生徒指導および部活動（服装・頭髪、言葉遣い、部活動等に関して）

服装・頭髪、言葉遣いや礼儀、部活動への参加状況に関しては三者から高い評価、達成感を得られており、これらの点においてはまさに本校の自慢すべき点であると考えます。このことは生徒・保護者の規律を重んじる気持ちの表れであり、学校のぶれない指導体制の積み重ねと考えられます。しかし、教育相談体制や学校の生徒指導方針の説明や理解については、教員と生徒の間でその評価が大きく分かれており、ねらいと目標を明確にした具体的な方策を実行し、改善に努めていく必要があります。学年便りや指導部便りを有効に活用するのはもちろん、ＰＴＡ総会の出席率を上げる手立てを考え、学校の現状と取組及び成果を丁寧に説明していきたいと思います。さらに、スクールカウンセラーとの連携を強化し、教員一人一人のカウンセリングマインドをより高め、数字やマニュアルにとらわれすぎない人間味ある生徒支援体制の構築を目指していく必要があります。

Ⅳ その他（整理整頓、生徒の学校生活等に関して）

校内の清掃状況に関しては三者から高い評価を得られました。特に、教員からの評価は昨年比でも大きく改善しており、毎日の清掃や校内の美化に努める生徒達の小さな心遣いが数字として表れた結果であると思います。その一方、必要な情報の提供に関して、保護者から見るとまだまだ不足している状況といえるので、紙媒体、電子媒体の長所を生かした適切な情報提供のあり方について再考し、改善を図っていきます。

また、この項目での最大の懸案事項は、「学校が楽しいか」という発問に対し、教員・保護者と生徒との間で大きな隔たりがあるということです。“高校生の本音”の部分を周囲の大人がうまく理解してあげられない状況があると言っても良いのかもしれません。日頃からの生徒との会話をより重視し、家庭との情報共有を図りながら、今後も生徒理解に努めていきます。

離任される先生方より

横山　隆　校長先生　　異動先　相馬高校

只見町の方々には大変お世話になりました。そして何よりも、純粋で素直な生徒のみなさんとともに只見高校で過ごした３年間は、貴重な経験となりました。心より御礼を申し上げます。只見高校の使命は、地域とともに、地域でこどもを育てることにあります。そこには、一切の妥協はありません。少子化の中、厳しい状況が続きますが、只見高校生が、社会で光り輝き続けるために、只見高校が発展し続けることを期待しております。

長谷部　克則　先生（地理歴史・公民、文化鑑賞愛好会、ボランティア愛好会）　　定年退職

38 年間の教員生活を母校の只見高校で終えることになりました。

本校は素直で実直な生徒諸君と理解ある保護者の皆様、そして地域の皆様と町当局からの物心両面でのご支援に支えられています。只見町の本校に対する援助は「地域が支える学校」「子育ては社会の手で」の実践といえるでしょう。

「老兵は消え去るのみ」ですが、これからも只見高校の発展を祈念し、応援していきたいと思っています。この６年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

末筆ながら皆様のご健勝を祈念いたします。

山本　俊　先生（地理歴史・公民、３学年主任、バスケットボール部、パソコン部）
異動先　会津学鳳高校

只見に赴任した折、そびえたつ蒲生岳や雄大に流れる只見川・伊南川を目の当たりにし、感激したことを今でも覚えています。只見高校での生活はこの大自然と、３月１日に送りだした卒業生と共にありました。また、息子を授かり、公私ともに充実した毎日となりました。「光陰矢の如し」とは言いますが、本当にあっという間の３年間でした。

これも生徒諸君や保護者・地域の皆様、とくに暖かく迎え入れていただいた舘ノ川区の方々の支えがあってのことと思います。本当にありがとうございました。

信成　健人　先生（保健体育、２学年副担任、バレーボール部）　　異動先　あさか開成高校

只見高校には３年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。初めて只見の地に来た際の、道のりの長さや雪の多さに圧倒されたことは今でも鮮明に覚えています。それも今では懐かしく感じるくらい只見の環境に馴染む事ができました。

この３年間は、あっという間でしたが、生徒や保護者の方々、先生方や只見町の方々に支えられてきたからこそ頑張ることができましたし、様々な事を学ばせて頂けたと思っています。本当にありがとうございました。３年間楽しかったです。

白土　あゆみ　先生（国語、2 学年副担任、茶華道部）　　異動先　相馬高校

赴任前の２月、初めて只見高校へと挨拶に来た際、日の光に雪がきらきらと輝いていた光景を、その時の言葉に表せない高揚と期待を、今でも鮮明に思い出します。それから４度季節が巡る中、この地で泣き、笑い、苦しみ、楽しんだ日々は、私にとって何にも代えがたいものとなりました。今まで関わり支えて下さった全ての方々に、感謝申し上げます。ありがとうございました。最後になりましたが、只見高校と只見町のますますのご発展を心よりお祈り致します。４年間大変お世話になりました。

木村　洋子　先生（養護教諭、剣道愛好会）　　異動先　田島高校

只見高校へ赴任し、４年が過ぎました。私が赴任した年の４月は残雪が多く、低い建物は雪に覆われていました。５月には雪が融け、花々が咲く、美しい只見の景色を見ることができました。只見の深い自然の中で暮らした日々は私にとって忘れがたい貴重な経験となりました。

最後に、只見でお世話になった方々へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

中丸　啓　さん　（主任ボイラー技士兼用務員）　　異動先　田島高校

旧南郷出身なので多少の雪には驚きませんが、それでもグランドの雪の量には圧倒されました。そのグランドの圧倒的な残雪が溶けて、折れて雪の下になっていた桜の枝に咲きかけの桜を見つけ大変驚いた記憶があります。

さて、只見高校の生徒の皆様、教職員の皆様、父兄の皆様、只見町の皆様、６年間たいへんお世話になりました。この素晴らしい自然の下で仕事が出来たことを誇りに思い、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。